

たんぽぽニュース №51

2020年3月3日発行

たんぽぽの職員が発信するニュース、2月はたんぽぽにいられている利用者の方の声と職員による“たんぽぽは、ここが良い！”を紹介します。

家にいるよりたんぽぽが10倍楽しい。午後の自由な時間に好きなだけ塗り絵ができる。入浴時、介助してもらいながら入れて頂き感謝している。食事は、毎回違うメニューで、品数も多く、すごく美味しい。調理員さんが1人でやっています。すごい。(M・T)

現在、週2回利用しているが、このまま続けたい。食事が美味しく、いつも全部食べている。体が動かなくなってきていて、自分ではできることが少なくなってきているが、みんながいろいろやっている姿を見たり、笑い声が聞こえてきたりするのは楽しい。(Y・Y)

家に居るより、みんなと楽しく過ごすたんぽぽは良い。楽しいから来ている。メニュー(工作、ちぎり絵など)がいろいろあり、家でできないことを教えてくれるから良い。(T・Y)



キャップ置きは、一人でも二人でもできて楽しい。職員もみんなもいい人ばかりで、嫌な思いをしている人がいないことは素晴らしい。最高だ。たんぽぽに来て、本当によかった。(M・H)

たんぽぽでやっている事、どれもいい。特にカレンダー作りは楽しい。塗り絵はやったことがなく、たんぽぽで初めてだが、今は塗り絵を買って家でやっている。塗り絵倶楽部に参加していて、重ね塗りを学び活用している。

(M・E)

食事が美味しい。1ヶ月毎の食事のメニューが配られているが、家で食事に困った時に活用している。たんぽぽでお風呂に入ることができるのは嬉しい。家では、一人なので、たんぽぽでみんなの顔を見るとホッとする。職員みんながやさしい。(T・Y)



お昼、おやつ、とても美味しい。職員がやさしい。昔は、折り紙など苦手だったが、たんぽぽでやるようになり、やってみようと思うようになった。

(K・S)



Q. 職員から見た、たんぽぽの良いところは、何ですか？

A. 利用者様の身体の変化に気づき、ケアマネ、家族、医療機関に速やかに対応できるように心がけている。

A. 多様なプログラムにより、様々な体験ができる。

A. 様々な専門職が従事しているので、各専門職の視点から細やかなケアが提供できる。

A. 利用者の定員が18名と丁度良い人数なので、一つにまとまる事もできるし、毎回席が色々なので、いろいろな方とお話ができる。



【たんぽぽの手作りのお昼とおやつの様子】



【午後の自由時間の様子と塗り絵倶楽部の様子】



【脱衣所と浴室】



医療法人財団 共立医療会
デイサービスセンターたんぽぽ
八王子市東町2-3 共立ビル5F
Tel: 042-639-7630
ホームページ
kyo-ritu.jp/tampopo.html

